

# 堤 つつみ はじめ

前橋市議会議員

情報・政策を SNS で随時配信中

フォロワー  
チャンネル登録  
お願いします。



## 公園管理と愛護会の現状

市内にある公園の多くは近隣住民で組織される愛護会があり、公園の日常管理をしていたが、高齢化や担い手不足にともない、愛護会の存続、そして公園の維持管理が大変であるという声を耳にする。特に今年は夏の猛暑により、草の繁茂も著しく、除草作業には、多大なる労力と負担が生じており、秋には落ち葉清掃もまた負担となっている。そこで中高木の剪定や伐採などの作業を市で行うとともに、道路清掃車を活用した落ち葉収集の負担軽減策を要望した。

また、人的負担の軽減も大きな課題であることから、SDGs パートナリー制度を活用し、企業等へ呼び掛けて、地域との連携による公園美化プロジェクトを構築し、愛護会の負担軽減に取り組むことを要望した。



## 学校給食の無償化

本市の場合、完全無償化に必要な予算は毎年約14億円。ここに施設の老朽化による更新費用とも重なれば、さらに大きな予算が必要となる。現在、第3子以降給食費無償化制度や令和4年度からの食材費高騰等による保護者負担の軽減策で給食費1食あたり30円の公費負担を実施していることから、学校給食の安定供給を最優先に実施方法や実施時期を含め、慎重に検討する必要がある。

## 交通安全対策の対応状況

今年度になり、カーブミラーの設置をはじめ、交通安全対策にかかる整備要望が非常に増えている。こういった安全対策の予算については、県からの交通安全対策特別交付金を財源としており、年々、減額されている。財源となる県からの交付金の減額に伴い、安全対策が疎かになるのはどうなのか。ただでさえ交通事故の多い地域だからこそ、市民にとって、交通安全の確保は重要であり、市単独費を充てるなど安全対策にかかると整備の充実を要望した。

カーブミラーの設置や横断歩道の塗り直し等

誰よりも交通安全  
対策に取り組めます！

大手町



紅雲 & 南町



昭和町



紅雲 & 表町



紅雲 & 表町



昭和町



頂いている要望には、  
順次対応していきます！

写真は直近の要望に対する対応状況

令和6年度へ向けて、予算要望！



前橋市長

山本りゅう

前橋市議会議員

堤はじめ

事業所税について

連日、企業倒産の報道を目にするが、市内企業も原油価格高騰、物価高騰の影響などを受け、経営状況が懸念される。市内企業の倒産件数は東京商工リサーチの調査によると、2023年は9月までで19件で、今年度は増加の傾向が見られる。新型コロナウイルスが収束し、企業動向も良くなるかと思いきや、物価高騰等により、赤字決算となる事業者もでてきている中で、経営状況の厳しい事業者にとって事業所税の納付は大きな負担となっている。高崎のように経営状況に即し、赤字決算の場合、助成措置を行うなどの検討を要望した。

旧町名の活用

歴史まちづくり計画では、来年度街なかの老朽化した案内板を対象として、旧町名の由来や地図を記した板面への更新あるいは新設を進めることを計画している。旧町名については昭和40年代に現行の町名へと変更されているが、それぞれ由来や特徴があり、例えば

南曲輪町は旧字の水曲輪、内柿之宮をあわせて改名し、前橋城の二の丸のあったところとされている。旧町名の復活に先進的に取り組んでいる自治体もあることから取り組みに期待をする。



体育館への冷暖房設置について

来年度の工事実施に向けて、中学校10校分について実施設計を委託しているところである。平時も大切だが、まさに災害時に空調設備がきちんと稼働することが必要であると感じる。例えば、この時期に災害が発生したら、真っ暗な、暖房もない、体育館で冷たい食事を食べながら、充電の切れたスマートフォンを握りしめる。そんなことを考えれば災害時でも電気が使える環境となるよう要望した。

前橋城大手門石垣の保存公開

前橋城大手門の石垣は、令和3年1月に出土したが、現在は埋め戻され民間の駐車場として利用されている。地中の石垣は、当時の再開発事業者にも協力を頂き、保護された状態で残されている。大坂城の豊臣石垣公開プロジェクトをはじめ、鶴ヶ城や金沢城など石垣の保存公開を進めている自治体があることから、大手門の石垣も、無駄にしないよう保存公開を要望した。



旧職員研修会館の今後

本年8月に跡地活用に係る事業者公募を開始したところ、企画提案書が提出されたのは1者のみで、一次審査を経て12月4日に審査委員会による二次審査が行われた。今後の予定は、12月中旬に優先交渉権者を決定し基本協定の締結、地域説明会の実施を経て契約などの手続きに進む予定。